

KIN KON

KISHU
ICHIKAWA
NIIGATA
KATSUTA
OSAKA
NAGAOKA

2017
春夏



スリムCO₂



北越紀州製紙グループ
ビーエフ&パッケージ株式会社
<http://www.bfpk.co.jp>



北越紀州製紙株式会社

KINKONは、当社工場の地名の頭文字を組み合わせ、お客様を訪問する際のチャイム音「キンコン♪」をイメージした、当社の環境活動通信誌です。

持続可能な未来に向けて

原材料調達の基本方針に基づき、環境・社会・経済面で持続可能な木材原料の調達に取り組んでいます。

森林減少を抑止するための世界の流れ

森林減少は、1980年代には既に深刻な環境問題として認識されてきましたが、それを抑止するための世界的な取り組みは行われていませんでした。

1992年、ブラジル・リオデジャネイロで地球サミットが開催され、参加した国や国際機関、NGOなどが「森林原則声明」を採択し、その後の「モントリオール・プロセス」といった世界的な取り組みに繋がっていきました。一方で、より具体的な森林減少の抑止に向けた管理が必要との考えから、様々な森林認証制度ができあがりました。

熱帯地域における森林減少は無計画な商業伐採や農地開発によるものが多いとされ、農地開発においては、天然林を伐採してパーム油製造のためのアブラヤシプランテーションに転換することなどが一因となっています。

こうした状況を受け、2005年イギリス・グレンイーグルズサミットにおいて違法伐採への具体的取り組みを行うことにG8が合意し、その後米国・EU・日本と、各国で違法伐採を抑止する法律が定められてきました。

近年では、TCGF(世界的な消費財流通ネットワーク)が2020年までに森林破壊ゼロを目指すなど、企業レベルでの取り組みも進んでいます。

数ある森林認証制度の中でも、10の原則と70の基準により適切に管理された森林かどうかを認証するFSC®が、森林破壊の抑止に最も有効であるとの評価を受けており、世界的に展開する企業において、紙や木材製品の調達基準としてスタンダードになりつつあります。

当社も持続可能な未来へ向けて、今後も様々な取り組みを行っていきます。

2005

原材料調達の基本方針

- ①環境優先 ②オープンでフェアな取引
 - ③法令の遵守と情報の公開 ④相互の信頼と繁栄
- 詳細はこちらをご覧ください。 <http://www.hokuetsu-kishu.jp/environment/posture.html>



2006

北越紀州製紙のトレーサビリティシステム

2006年にグリーン購入法の判断基準が改正されたことを受け、林野庁は木材製品の供給者が合法性、持続可能性の証明に取り組むにあたって留意すべき事項などを取りまとめたガイドラインを制定しました。

これをもとに北越紀州製紙では、木材原料調達に際して実施するトレーサビリティシステムを構築しました。

海外サプライヤー

植林木由来のチップ

チップが船積みされるごとに、集荷された木材の樹種や伐採地といった由来情報を収集し、確認しています。

国内サプライヤー

里山二次林由来のチップ

木材を伐採するサプライヤーに対し、伐採届の提出状況や合法性について確認しています。

さらに、このトレーサビリティシステムが適切に運用されているかを確認する第三者監査を毎年受けています。

FSC®認証紙の製造のために使用が認められている木材原料

| 分類 | 説明 |
|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| FSC認証材 | FSC認証を取得した供給者から、FSCの認証基準を全て満たして販売されるチップやパルプ。「FSC100%」「FSCミックス」「FSCリサイクル」といったFSC表示が付いています。 |
| FSC-CW (Controlled Wood)材 | FSC認証を取得した供給者からFSC表示を伴わずに販売されるチップやパルプ。 |
| CW材 | FSC認証を取得していない供給者から販売され、購入した企業自らがFSCの認証基準に適合することを確認し、FSCに認められたチップやパルプ。 |

木材原料以外にも回収原料(古紙)を使用することができます。

北越紀州製紙の取り組み

KINKON 豆知識

オリンピック・パラリンピックで使われる紙製品

オリンピック・パラリンピックでは、持続可能性に配慮した運営計画が策定されています。大会の運営に使用する木材や紙製品についても持続可能性が配慮され、たとえば、2012年のロンドン大会では、使用する紙製品について、「非塗工紙は100%使用済み古紙、塗工紙は75%以上使用済み古紙を使用することを目指し、その他のバージン原料については、FSC®認証原料を使う」とする調達基準が定められました。

2020年の開催が決まっている東京大会においても、このような調達基準の策定が検討されています。東京オリンピック・パラリンピックの開催によって、日本での森林認証の認知が高まることが期待されます。

Hot News

FSC®認証製品の紹介

より多くのお客様にFSC認証製品をお使い頂けるよう、2017年からラインアップを拡充しました。



| 紙種 | 製品名 |
|---------|--------------|
| 塗工紙 | μコートネオス-F |
| 特殊白板紙 | NEW DV-F |
| コート白ボール | マリコート-F |
| 高級印刷用紙 | ハイ-アビスNEO(F) |
| | 孔雀ケント(F) |

北越紀州製紙では全工場でFSC認証を取得しており、この他にもFSC認証製品の対応が可能です。詳細については、営業部までお問い合わせください。

木材原料についてのトレーサビリティシステムを構築 原材料調達の基本方針を策定

原料となる輸入チップを全量植林木に切替え

FSC® CoC認証を取得

新潟工場を皮切りに、全工場でCoC認証を取得しています。



世界の流れ・動き

ビーエフ&パッケージ

2つの生産拠点で「総合紙加工」に取り組む

表紙イラストの題材になっているビーエフ&パッケージは、多様な紙加工をおこなっている北越紀州製紙のグループ会社です。

生産拠点のひとつである勝田製造部は当社関東工場勝田工務部に隣接しており、紙から印刷・加工、デザインまで一貫生産できる強みを活かし、フライドポテト、唐揚げなどの食品一次容器や菓子などのパッケージ、医療品・化粧品包装に使われる美粧紙等の生産をおこなっています。また、コンビニやスーパーなどでよく見かける屋根型の牛乳、飲料紙容器において国内トップクラスのシェアを獲得しています。ブランド名「TOHEI-PAK(トーエーパック)」が、容器に印字されていますので、お手に取った際には是非確認してみてください。



もうひとつの拠点である所沢製造部では、解答用紙や納付書といった情報用紙の生産や、タグに記録された情報を無線によって通信するラベル製品の製造、ダイレクトメールや請求書・圧着ハガキ等について、厳重な個人情報管理のもと印字・封入・封緘・発送管理まで請け負うDPS(Data Processing Service)業務をおこなっています。



勝田製造部

Hot News 食品安全マネジメントシステムFSSC22000の認証を取得

ビーエフ&パッケージは、食品安全マネジメントシステムの国際規格「FSSC22000」(Food Safety System Certification 22000)を認証取得しました(2016年12月26日)。

「FSSC22000」とは、国際食品安全イニシアチブにより食品安全の認証スキームの一つとして承認された規格です。最近関心が高まっているフードディフェンスなど、より高いレベルでの食品安全管理が求められます。

今後とも、お客さまに紙容器をより一層、安全・安心にご利用いただけるよう、品質管理と製品安全に関する取組みを更に強化してまいります。

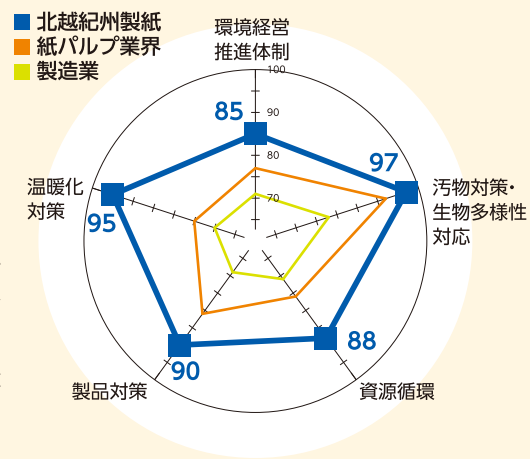


Hot News 日経環境経営度調査ランキング 紙パルプ業界で首位を獲得

日本経済新聞社が実施する第20回「企業の環境経営度調査」において、北越紀州製紙は500点満点中455点を獲得し、1733社を調査対象とした製造業総合ランキングで、回答した396社中31位、紙パルプ業界では首位となりました。

この調査では、①環境経営推進体制、②汚染対策・生物多様性対応、③資源循環、④製品対策、⑤温暖化対策という5つの評価指標から企業の環境経営度の総合スコアが算出され、ランキングが作成されます。

当社は新潟工場のガスコージェネレーション設備や黒液濃縮設備の導入によりCO₂排出量を大きく削減したことや、持続可能な海外植林木、国内二次林を原料として利用していることなどが評価され、「温暖化対策」、「生物多様性対応」を始めとした各項目で高い評価を得ました。



編集後記

森林保護が大切ということは、当たり前の感覚として、誰もが持っていると思います。

森林には多様な生物が生息するとともに、多くの先住民が暮らしています。また、水を蓄え、地盤を強固にし、炭素を固定しています。ですから、生態系や先住民の人権を保護するためにも、森林の価値を失わないためにも、守っていく必要があります。

では、どのようにして森林を守っていくのか…今回特集したように、国も企業も世界的に取り組みを進めています。最も大切なことは、私たち一人ひとりが森林破壊を遠い国のことだと考えず、自分に係わる重大なことだと認識することではないでしょうか。

この通信誌の用紙にはミューマット157g/㎡を使用しております。

KINKON vol.7



発行 北越紀州製紙株式会社

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-2
TEL (代): 03-3245-4500 FAX: 03-3245-4511
http://www.hokuetsu-kishu.jp

2017年7月発行